

令和5年度（2023年）院内研修計画

	研 修 名	研修目的(ねらい)	研 修 目 標	内容及び方法	講 師	月 日	時 間
レベルⅠ	新採用時 オリエンテーション (R3 中途採用)	1. 市役所の組織を理解し市職員としての姿勢を養う 2. 病院及び看護部の理念を理解し行動する 3. 病院及び看護部の組織と機能について理解し組織の一員としての自覚を高める	1. 公務員制度・倫理を理解する 2. 社会人としての接遇を習得し実践できる 3. 病院の理念、組織と機能を理解する 4. 看護部の理念、組織と機能を理解する	講義 オリエンテーション 各委員会 情報システム	看護部長・副看護部長 看護師長 実地指導者 他部門担当者	4月3日(月) 4月5日(水) 4月6日(木)	4/3のみ 13：30～ 8:30～ 17:30
	臨床研修	1. 知識・技術・態度を統合し、あらゆる健康段階にある対象に応じて、根拠のある看護実践力を養う	1. 医療チームの一員としての自覚を持ち、その役割を意識し、責任のある行動がとれる 2. 原理・原則に基づき看護技術を対象に応じて安全に実践することができる 3. 科学的根拠に基づいた知識を持ち、対象に即した看護展開ができる 4. 自己の課題を明確にし、自主的に学習できる 5. 部署の構造を知り、日勤業務の流れがわかる 【4月】 1. 患者・スタッフに笑顔で挨拶ができる 2. 基準に沿った身だしなみができ、他者に不快を与えない言葉遣いができる 3. 守秘義務のルールがわかる 4. 病院職員として自覚がもてる 5. 病棟の雰囲気になれることができる 6. 分からないことは積極的に聞くことができる 7. 麻薬の取り扱い時の注意事項を知る 8. 麻薬の副作用を知る 9. 注射・採血・与薬が指導のもとできる 10. 6R に基づいて安全に注射が行える 11. 指導をうけながら、6R に基づいて安全に与薬が行える 【5月】 1. 病棟のスケジュールが分かる 2. 受け持ち患者の疾患について理解できる 3. 処置、検査の必要性和手順、注意事項が分かる 4. スタンダードプリコーションを理解し実践できる 5. 担当の科の疾患について学習することができる 【6月】 1. 指導を受けながら、受け持ち患者を持つことができる 2. 指導をうけながら、報告・連絡・相談ができる 3. ヒヤリハット、医療事故報告の方法がわかる 4. チーム間の応援体制が分かる 【7月】 1. 疼痛スケールを用いた評価方法を知り、評価ができる 2. 入院患者を担当し、病棟の案内ができる 3. 入院チェックリストに沿って、入力・書類の準備・作成ができる 4. 指導者とともに、3ヶ月の振り返りをすることができる	病棟研修 ＜令和4年度ローテーション研修＞ 主に6東・6西・5東・5西・3東・3西のセクションに、配置し10日間ずつ(土日・祝日除く)ローテーションで研修を行う。また、看護支援室に3日間、手術室2日間行う。3西病棟研修時に4西病棟の研修を1日行う。 別紙:ローテーション表参照 7月中旬～病棟配属予定	実地指導者 教育委員	別紙: ローテーション 表参照	8:30～ 17:15

		2. 厚生労働省新人看護研修ガイドラインに基づき看護技術 13 項目についての目標が達成できる	5. 救急カートの薬品について調べることができる 6. 急変時の対応の流れを理解する 7. 救急対応時、必要物品を指示のもと準備することができる 【退院支援】 1. 入院の取り方について理解することができる 2. MSW の役割を理解することができる 3. 入退院支援係の役割を理解することができる 【手術室】 1. 患者の入室から退出までの一連の流れを理解し、手術室看護師の役割を学ぶ 2. 手術室における感染防止対策について理解し、実施できる				
	医療安全研修会 (随時採用者看護師含む)	1. 医療事故防止に必要な知識・対応を学びリスクマネジメントの考え方を理解する	1. 施設における医療安全管理体制について理解できる 2. ヒヤリハット報告の必要性や記載方法が理解できる	ナーシングスキル 医療安全管理室 指定のeラーニングを事前実施 講義・演習	医療安全管理室 統括リスクマネージャー	5 月 18 日(火)	13:30～ 16:30
	重症度、医療・看護必要度	1. 看護必要度の重要性が理解できる	1. 看護必要度の正しい判断ができ、記録できる	ナーシングスキル 「看護に活かす看護必要度」 部署で入力方法説明	副看護師長 (必要度グループ)	5 月 29 日(月)	13:30～ 16:30
	基本的看護技術 注射・採血・与薬	1. 基礎的知識・技術を習得し看護実践能力の向上を図る	1. 基本的看護技術に必要な知識と技術を習得し安全に実践できる	講義・演習 ナーシングスキルで事前視聴 「安全安楽な採血を目指して」1～5回 「真空管・翼状針」 「薬剤の基礎知識」1～2回 看護技術は病棟で実施	所属部署教育委員 実地指導者担当副看護師長 感染管理認定看護師 実地指導者 薬剤師	6 月 13 日(火)	11:00～ 16:30
	医療機器 (人工呼吸器含む)	1. 必要な医療機器の取り扱いが理解できる	1. 医療機器の操作ができる	講義・演習	臨床工学技士 呼吸管理認定看護師 実地指導者	6 月 26 日(月)	9:00～ 16:30
	急変時の看護 フィジカルアセスメント I (随時採用者看護師含む)BLS	1. 救命救急の基本的技術、必要な医療機器の取り扱いが理解できる	1. 救急蘇生に必要な知識と看護を習得する 2. 救命時の蘇生技術を習得する 3. 救命蘇生時における機器の取り扱いを習得する	講義 演習 モニター・AED ナーシングスキル 「バイタルサインの評価」「急変対応」1～4回事前視聴	実地指導者 BLS インストラクター取得者	7 月 3 日(月)	13:30～ 16:30
	フレッシュナースのためのフォローアップ (リアリティーショック含む)	1. 入職3ヶ月を振り返り、看護師としての自己を見つめ直す 2. 仲間との交流を通して、心身のリラックスを図り看護の喜び楽しみを見出す	1. 看護師としての3ヶ月を振り返り、自己を表現できる 2. お互いの交流を深め自分を表現できる 3. リアリティーショックを最小限にできる	講義・GW	実地指導者	7 月 20 日(木)	13:30～ 16:30
	倫理 I	1. 看護者の倫理綱領の内容が理解できる 2. 看護倫理における倫理的課題に対し解決方法を知る	1. 日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を学び日常ケアでの倫理問題に気づくことができる	講義・GW	認定看護師	10 月 31 日(火)	13:30～ 16:30

	多重課題研修	1. 多重課題・時間切迫の状況下で、安全に看護を提供できる能力を養う	1. 患者をアセスメントする際に必要な考え方を身につける 2. 事故防止・感染予防・科学的根拠に基づいた看護技術の提供・倫理的配慮と いった看護の基礎を振り返ることができる 3. 安全な看護を提供するために必要な応援体制・優先順位の判断の必要性を認識できる	実技 ディスカッション ナーシングスキル 「複数患者への対応」事前視聴	実地指導者	11 月 13 日(月)	13:30～ 16:30
	リフレッシュ研修	1. 仲間との交流を通し心身のリフレッシュを図る	1. 新たな看護への意欲が湧く	体験学習 内容検討中	実地指導者	2 月 24 日(土)	8:30～ 12:30
	1年目の振り返り (経験者はレポート 提出のみ)	1. 1年を振り返り自己の成長を確認し今後の課題を明確にする	1. 自分自身の課題を見つけ、その具体策を述べる事ができる		実地指導者 実地指導者担当副看護師長	3 月 14 日(木)	13:30～ 16:30
レベルⅡ	リーダーシップⅡ	1. チームメンバーとして1日の業務が円滑に進むよう調整できる能力を養う	1. リーダーとしての役割行動を理解し、今後のリーダーシップにつなげることができる 2. 自分自身について理解を深め、他者の気持ちや考え方を尊重し受容しあう大切さを理解する	講義 GW	業務委員会 副看護師長	7 月 6 日(木)	13:30～ 16:30
	倫理Ⅱ	1. 看護実践の法的根拠及び倫理的知識(原則・綱領)を学習し、倫理的問題を分析するための視点を学ぶ	1. 看護実践に必要な法的根拠、倫理的知識(原則・綱領)を理解する 2. 倫理的問題を分析する視点を抽出することができる	講義 GW 事前課題	認定看護師チーム会	6 月 23 日(金)	13:30～ 16:30
	地域包括ケアシステムⅡ	1. 入退院支援の必要性が理解でき、問題点の明確化にできる	1. 退院支援が必要になる患者の把握ができ、プランを立案できる 2. 「生活を支える医療の理念」のもと、対象者を生活者としてとらえることができる	講義 GW	看護支援係	8 月 17 日(木)	13:30～ 16:30
	急変時の看護 フィジカルアセスメントⅡ	1.急変時のリーダー的役割が担える	1. チーム蘇生の必要性や役割が理解できる 2. 事例を用いてチーム蘇生を実践できる	講義 演習 中堅レベルナーシングスキル 急変時の看護 (第1～6回)事前視聴	教育委員	6 月 17 日(土)	13:30～ 16:30
	看護過程Ⅱ	1. 個性をふまえた看護過程が展開できる	1. 看護の過程を通して自分の看護を表現できる 2. 看護ケアの実践と記録の連動ができる 3. 看護記録の目的を理解できる	講義 事例検討 GW	記録委員会看護師長・副看護師長	12 月 7 日(木)	13:30～ 16:30
	事例発表Ⅱ	1. 自分が関わった事例の看護の過程を、振り返り自己の看護を見つめる	1. 看護の過程を通して自分の看護を表現できる	講義 GW	教育委員会看護師長	1 月 18 日(木)	13:30～ 16:30
	看護研究Ⅱ	1. 看護研究に必要な文献クリティークを理解し、看護研究を行う上での基礎的知識の習得ができる	1. 文献クリティークの目的を理解する 2. 文献検索の必要性が理解できる 3. 看護研究を行う上で必要な知識(文献検索)が理解できる	講義 講義・GW 講義・支援 ナーシングスキル 「楽しくやろう看護研究 講義1」 看護研究とは 研究テーマの見つけ方(第1.3回)	小尾貴子 副看護師長 嶋田やよい 副看護師長	6 月 9 日(金) 10 月 13 日(金)	13:30～ 16:30

レベルⅢ	倫理Ⅲ	1. 看護実践の法的根拠と倫理的知識を習得し、倫理的 問題解決に向けての方法を学ぶ	1. 看護実践に必要な倫理原則・看護師の倫理綱領・基本的法律を活用し、倫理 的問題の原因を追求できる 2. 倫理問題の解決法を提示することができる	講義・GW 中堅レベルナーシングスキル 日常の看護ケアで考える倫理 (第1回～3回)事前視聴	認定看護師チーム会	7 月 7 日(木)	13:30～ 16:30
	地域包括ケアシ テムⅢ	1. 入退院支援の課題を抽出でき、生活上の課題と医療 上の課題を明確にできる	1.社会的、経済的な課題を明確にでき支援を検討することができる 2. 病状、病態から考える医療・看護上の視点が理解できる 3. ADL／IADL から考える生活・ケア上の視点が理解できる	講義・GW 事例検討 中堅レベルナーシングスキル 入退院支援における入退院支援部門の役割 (第1回～4回)事前視聴	看護支援係	8 月 3 日(木)	13:30～ 16:30
	リーダーシップⅢ	1. サブリーダーとしてチームリーダーの補佐ができる	1.「聴く」「質問する」「承認する」「調整する」ことの意味合いやその効果を理解で きる	講義 GW	教育委員会副師長	9 月 26 日(火)	13:30～ 16:30
	フィジカルアセスメ ントⅢ	1. フィジカルアセスメントを用いて、急変時の対応ができ る。	1. 急変の予兆を意識、呼吸、循環の様子で見手がかりが理解できる 2. 急変時の一次評価とその対応について具体例を通して理解する 3. 急変対応に必要なチーム医療とは何か理解する	講義 中堅レベルナーシングスキル 迅速なフィジカルアセスメントで行う急変予測と対応 (第1～4回) 事前視聴	インストラクター取得者	10 月 5 日(木)	13:30～ 16:30
	看護過程Ⅲ	1. 看護理論から患者を統合的にとらえた看護展開がで きる	1. 精神・社会的側面を看護理論(ヘンダーソン)に基づきアセスメントと展開ができ る	講義・GW	認定看護師チーム会	11 月 15 日(水)	13:30～ 16:30
	看護研究 Ⅲ	1. 自身の看護実践の中から看護の疑問と疑問に対する 現在の看護実践がどのようにになっているかを追求する ことができる	1. 研究のプロセスを理解し、研究計画書の作成方法を学ぶ 2. 研究テーマを絞り研究計画書を作成できる 3. 倫理審査の書類が作成できる	講義 「楽しくやろう看護研究 講義1」 看護研究とは 研究テーマの見つけ方 (第1.2.4 回)事前視聴 「楽しくやろう看護研究 講義3」 研究計画書・倫理配慮と研究計画書 (全3 回)	嶋田 やよい 副看護師長 小尾 貴子 副看護師長	6 月 19 日(月) 厚生室 10 月 2 日(月) 厚生室 12 月 4 日(月) 厚生室	14:30～ 16:30
レベルⅣ	倫理Ⅳ	1. 日常業務の中にある倫理的ジレンマを把握し、倫理 的問題に取り組むための力を身につけることができる	1. 倫理的問題について状況を分析し対応を考えることができる 2. 倫理的ジレンマを顕在化しその問題について思考し、表現し、検討し合うことが できる(グループ検討ができる)	講義 GW	認定看護師チーム会	6 月 15 日(木) 11 月 14 日(火)	13:30～ 16:30
	地域包括ケアシ テムⅣ	1. 自立支援・暮らしの場に帰るためのチームアプローチ ができる	1. 入院前から退院における自立支援に向けた継続看護が検討できる 2. 患者・家族を含めた他職種連携方法が理解できる 3. 院外の在宅支援チームとの連携の意味・必要性が理解できる	講義・GW 事例検討	看護支援係	11 月 28 日(火)	13:30～ 16:30
	リーダーシップⅣ (医療安全)	1 医療事故を起こしやすい状況を判断し事故を未然に防 ぐ対策の提案ができる	1. 分析・手法を理解できる	講義 GW	医療安全管理室統括リスク マネージャー	7 月 28 日(金)	13:30～ 16:30

	医療経済と病院経営Ⅳ	1. 看護職として病院経営参画の意義と役割が理解できる	1. 医療経済と病院経営の基礎的な知識を習得することができる 2. 身近なデータを用いて演習を行うことで理解を深め実践につなげることができる	講義・演習	九川 卓也 看護師長	9月7日(木)	13:30～ 16:30
	看護研究Ⅳ	1. 看護研究を実施する中で、自身の看護の科学的根拠をもち臨床での看護研究の意義を理解し看護実践に役立てる	1. 研究のプロセスを理解する 2. 研究に使う統計がわかる 3. 研究のプロセスを理解し研究の実施ができる 4. 結果及び、考察のまとめ方が理解できる 5. 論文のまとめ方が理解できる	講義 講義・支援 ナースングスキル「楽しくやろう看護研究 講義4」 統計とデータ分析 MicrosoftExcel を用いて全4回 7月までに視聴 「楽しくやろう看護研究 講義5」 論文執筆と研究発表全2回	嶋田 やよい 副看護師長 小尾 貴子 副看護師長	5月22日(月) 第一会議室 8月1日(火) 第一会議室 10月16日(月) 厚生室 12月1日(金) 厚生室 1月23日(火) 第一会議室	13:30～ 16:30 14:30～ 16:30 13:30～ 16:30
レベルⅤ	リーダーシップⅤ (チームマネジメント)	1. チームやグループの目標を運用するための基本を学ぶ	1. チームの目標設定、目標達成評価のポイントを理解できる	講義・GW 未来に「価値」が残る組織づくりVo.1ーつぶれない、つぶさない、つぶさないヒトと自分をつくろうー全4回 目標管理をうまく運用するコツ第1回 課題設定し実践報告書提出	看護部教育委員 看護師長	6月12日(月) 11月30日(木)	13:30～ 16:30
	地域包括ケアシステムⅤ	1. 地域における病院看護師の役割が明確になり、マネジメントできる	1. 地域包括ケアシステムにおける自施設の役割が理解できる 2. 他職種との関わりを理解しマネジメントできる	講義 GW	看護支援室副看護師長 看護支援係 看護師 医療相談室 渡辺係長	7月24日(月)	13:30～ 16:30
	倫理Ⅴ	1. 複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種を含めた調整的役割を担うことができる	1. 倫理的意思決定の場においてコーディネートできる	講義 GW	嶋田 やよい 副看護師長	8月25日(金)	13:30～ 16:30
管理Ⅰ 管理Ⅱ (副師長および師長)	地域包括ケアシステム(管理ⅠⅡ)	1. 地域における病院看護師の役割が明確になり組織を統轄してマネジメントができる	1. 病院の役割機能(入退院支援の体制)が理解できる 2. 地域を取り巻く現状と課題を理解しマネジメントすることができる 3. 事例を通じ問題解決技法を学ぶことができる	講義 GW	院外講師 顔が見える地域連携(院外研修) 看護支援室 看護師長	10月23日(月)	13:30～ 16:30
	組織論ⅠⅡ総論	1. 部署の組織分析・評価を行うための分析手法を学ぶ	1. 病棟管理のためのデータを理解できる 2. 自部署の分析手法を理解できる 3. 分析手法を用いて自部署の課題の抽出・整理ができる	講義 GW	名取三恵 副看護部長	10月28日 (土)	8:30～ 12:30
管理Ⅱ 看護師長	組織論Ⅱ	1. 看護管理の戦略を実践する為の管理手法を学ぶ	1. 自部署の分析をもとに看護管理過程を展開できる 2. 看護管理者に必要な戦略技法を理解出来る	講義 GW	名取三恵 副看護部長	12月21日(木)	13:30～ 16:30
全看護師	看護研究 発表大会	1. 看護研究の発表を通して看護の質の向上を図る	1. 看護研究発表大会に参加し、活発な意見交換をすることによって、それぞれの看護を深めることができる 2. 研究結果を実践に活かし看護の質を高める	看護研究発表	研究者 教育委員会	R6.3月2日 (土)	8:30～ 12:30
全看護師	オンライン研修導入 研修(新規)	1. ZOOM 研修について看護部研修に対応した操作方法を体験する	1. 新任看護部教育委員・ラダーチャレンジ者を対象にZOOMを活用した導入・入室・画面共有・チャットなどで研修受講ができる	講義 GW	看護部教育委員会	5月23日(火)	15:00～ 16:30
	継続看護 (新規)	1. 入院～退院・外来受診の院内看護連携の必要性を学ぶ(対象者:外来系看護師・病棟看護師)	1. 外来看護師・病棟看護師間の継続看護の連携役割を知ることが出来る 2. 院内の継続看護について理解できる	講義 GW	看護支援室・入退院支援チーム会	5月30日(火)	17:30～ 18:30

	活動報告会	1. 活動報告を通し自己啓発を図る	1. 活動報告会に参加し、院内の看護活動を知ることができる 2. 知識・技術を共有し実践に役立てることができる	発表	活動者 2 ～3 題	R6. 2 月 17 日 (金)	17:30～ 18:30